

第38回西部コミュニティ協議会住民総会

議 案 書

日時：2019年4月13日(土) 10:00～

場所：西部コミュニティセンター1Fロビー

次第

1. 開会
2. 議長選出
3. 報告事項
 - (1) 2018年度活動報告
 - (2) 2018年度会計決算報告
 - (3) 2018年度特別会計決算報告
 - (4) 2019年度会計監査報告
4. 協議事項
 - (1) 2019年度活動計画案
 - (2) 2019年度予算案
 - (3) 運営委員の承認
 - (4) 役員・監査の承認
5. その他
6. 議長解任
7. 閉会

西部コミュニティセンター利用状況(月別・部屋別)

2018年4月～2019年3月

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開館日数	26	26	26	27	26	26	27	25	24	22	24	27	306
ロビー	1,095	1,056	2,225	1,297	1,096	1,025	1,987	1,050	1,050	960	1,071	1,230	15,142
茶室(きく)	15	15	15	7	4	16	10	10	16	23	16	23	170
和室(うめ)	299	253	358	387	250	276	350	259	280	231	315	284	3,542
和室(もも)	201	152	273	263	172	191	202	218	256	167	235	254	2,584
和室(さくら)	243	207	286	315	222	248	250	215	299	170	220	283	2,958
大会議室	241	304	278	187	287	298	248	200	159	288	261	295	3,046
調理室	85	99	117	110	120	127	61	85	67	99	41	102	1,113
会議室A	305	328	267	267	328	293	321	255	242	226	453	289	3,574
会議室B	180	197	246	204	219	171	172	197	163	183	327	248	2,507
会議室C	323	260	301	288	265	325	255	336	309	268	294	294	3,518
学習室	22	52	63	79	130	84	98	75	70	68	91	82	914
体育室	2,084	1,755	1,989	1,902	1,354	1,706	1,925	1,866	1,464	1,344	1,620	2,545	21,554
第1多目的室	129	168	151	151	254	190	210	201	151	157	257	204	2,223
第2多目的室	163	171	164	153	88	76	178	185	164	152	180	154	1,828
視聴覚室	212	232	229	274	169	265	312	244	303	230	311	235	3,016
合計	5,597	5,249	6,962	5,884	4,958	5,291	6,579	5,396	4,993	4,566	5,692	6,522	67,689

2018年度活動報告

開催日	活動名	参加人数
4月 21日 (土)	第37回住民総会	52
5月 12日 (土)	第12回武蔵境ピクニック	700程度
5月 15日 (火)	地域懇談会	24
6月 2日 (土)	第8回コミセンまつり	1,234
6月 8日 (金) 他2日	パソコンセミナー	延べ30
7月 5日 (木)	防災訓練	15
7月 8日 (日)	カラオケ大会	67
7月 24日 (火)	夏休み卓球の集い	42
7月 24日 (火)	夏休みコミュニティ食堂	55
8月 22日 (水)		45
8月 5日 (日)	囲碁大会	28
9月 8日 (土)	フレイル体操(仮称)	14
10月 14日 (日)	太極拳・気功の集い	44
10月 20日 (土)～21日 (日)	文化祭	1,060
10月 31日 (水)	ハロウィン	78
11月 17日 (土)	オータム・コンサート	81
11月 18日 (日)	バドミントンの集い	31
11月 23日 (金)	パソコンセミナー	17
11月 25日 (日)	絆プロジェクト	
12月 1日 (土)	年末大掃除	65
12月 1日 (土)	ボッチャ大会	26
12月 22日 (土)	和風づくり	7
1月 6日 (日)	活け花実演	20
1月 19日 (土)	どんど焼き(二小)	
1月 19日 (土)	どんど焼き(桜野)	
2月 1日 (金)	地域認知症講座	37
2月 14日 (木)	運営委員研修	92
2月 28日 (木)	防災訓練	15
3月 9日 (土)	ちびっこ運動会	176
3月 17日 (日)	卓球の集い	31
3月 21日 (木)	3コミセンネットワーク事業	170
3月 22日 (金)	ベーゴマ大会	24
奇数月第2火曜	生活習慣病予防料理講習会	延べ60
年間13回	運営委員会	

2018年度活動報告

■イベント

イベントを行う意味・目的

- イベントを機にコミセンに来て知ってもらう。
- イベント内で交流して顔見知りになってもらう。
- 既存サークルと関係のあるイベントからサークルと繋がってもらう。
- イベントづくりに関心を持ってもらう。

5月12日(土) 第12回武蔵境ピクニック

西部コミセンはピクニックのチェックポイントになっており、入り口防風室に長机を出して参加者にスタンプを押す担当をした。トイレと休憩場所の提供をした。麦茶も提供した。およそ700名が訪れ、西部コミセンを知ってもらうきっかけになったと思う。更に知ってもらうために西部コミセンの利用案内を配布できたらいいかもしれない。

5月15日(火) 地域懇談会

昨年度まで利用者懇談会という名称で利用者との意見交換を行っていたが、協議会が向き合っているのは地域で活動するみんなということ、そして広く意見交換するために地域懇談会という名称に変更した。次のような要望が得られた

- イベント等の掲示板表示を統一してほしい
- 麻雀牌を置いてほしい
- 新聞を置いてほしい
- 映画鑑賞会を開いてほしい

6月2日 第8回コミセンまつり

近隣小学校のPTAや青少協その他地域の団体の協力をいただき、コミセン前道路とロビーで模擬店、2Fで子どもの遊び、BFで芸能、例年通り行われた。多くの来館があったが、せっかくの全館挙げてのイベントなので来館者にコミセンの目的や機能を知ってもらう工夫が必要。11月に開催された桜堤ケアハウスのオリエンテーリングのように館内を巡ってもらうなどできたらいい。

6月8日(金), 6月22日(金), 7月6日(金) パソコンセミナー

3回に渡ってメールに関する講座を開いた。メールの仕組み、メールソフトの使い方、写真の添付の仕方などを学んだ。参加者がある程度使いこなせる人から全くの初心者まで幅が広がったため難しい面があった。

7月5日(木) 防災訓練

→ 防災部の報告を参照

7月8日(日) カラオケ大会

毎年安定した運営で定員もすぐに埋まってしまう人気のイベント。各々が歌った後は懇親会を楽しんで終わった。コミセンを利用しているカラオケサークルの完全バックアップのおかげで開催できている。曲のリストを作り申込時に曲名も指定してもらう。このようなソフトや曲の管理、機材の管理をどう続けていけるか、近々ではないが課題になってくることが考えられる。

7月24日(火) 夏休みコミュニティ 食堂Part1

給食・食育振興財団主催・コミセン協力のもと、コミセンロビーを会場にして学校の給食スタイルの食堂を開催した。給食スタイルを取り入れたので参加者の中から小学5年生の子に「いただきます！」の号令をかけてもらった。献立の糧うどんの糧に市内で農業をされている後藤さんの小松菜を使った。食事中、後藤さんから小松菜の説明や作ってる野菜の話をしてもらい、その後質問タイムを設けた。畑で使っている小松菜の種を実際に見せてもらい、小松菜は一年中作れること、種は病気対策で薬でコーティングされてるなど話してくれた。このあたりのMCは境南小栄養士宇佐美さんが行ってくれた。中には大人顔負けの「促成栽培はしていますか？」と専門的な質問もあった。11:30の集合がまばらだったため食事前に行うはずだった出汁比べ(きき出汁)を質問タイムの後に行った。全5問。かつおぶし、こんぶ、かつおぶし+こんぶ、しいたけ、煮干し。なかなか難しかった。最後にまた別の小学5年生の子に「ごちそうさま」の号令をしてもらった。帰りには、給食・食育振興財団から提供されたお土産野菜を持って帰ってもらった。いつも給食食材で仕入れている山形の農家さんから提供されたそう。後藤さんからも説明用に持ってきた小松菜が提供され、後藤さんとのジャンケン大会に勝った1名が持ち帰った。

7月24日(火) 卓球の集い

猛暑の中での実施になった。体育室の窓をすべて閉じ、換気扇で排気して、ロビーの冷たい空気を体育室へ取り込んだ。体育室の温度は33-35℃だった。30分毎に休憩を取り、ロビーでチューペットを食べてもらい体を冷やしてもらった。休憩後に暑いにもかかわらず体育室へ戻っていく参加者を見て、卓球が楽しいことがよく分かった。内容は5分毎に時計回りにシフトして相手を変えて行う練習、卓球ロボットとの練習など。シフトを行うことで力の差がある人、知らない人とも相手ができるメリットがある。スポーツが繋がりを生む分かりやすい例だと思った。

8月5日(日) 囲碁大会

西部コミセンにおいて囲碁は定期的に安定数の利用者がおり、開催はしたいが運営をしたい人がいないイベント。すべてが対局のため、未経験者を掘り起こしサークルへつなげるという面で課題がある。

8月22日(水) 夏休みコミュニティ 食堂Part2

Part1同様に進めた。献立は夏野菜カレーとした。食事中のイベントは大学生ボランティアが世界の料理国あてクイズをやってくれた。給食財団が二小・桜野小へチラシを4年生まで配ってくれたが、本当に孤食が発生しているのは学童保育を卒業して両親が働きに出ている4-6年生なのかもしれない。

9月8日(土) フレイル体操

桜堤ケアハウスへの協力という形で開催した。参加者数が想定数より少なかったが、その分一人の動ける広さと機会を確保できた。実際に体を動かすイベントなので定員やイスの配置を考える必要がある。講座の内容も多くの人を知るべきことで、さらに続けられるとよい。

10月14日(日) 気功・太極拳交流会

桜堤コミセンの方々、小金井公園太極拳の方々に演武を、中国人の先生に武富剣の素早い剣さばきを披露してもらった。参加者にも気功と太極拳を実際に楽しんでもらえたと思う。他コミセンで活動されている方、一般の方々が体験できる場があるということがいい。

10月20日(土)-21日(日) 第32回西部コミセン文化祭

コミセン建設前から続くイベント。コミュニティ協議会が建物ありき・建物利用者ありきではないことがよく分かる。従来の利用者・近隣関係機関の展示と芸能発表に加えて一昨年前からワークショップも行って体験できる文化祭にしている。今年度は演芸祭に、愛〜kanashi〜さんに歌と、マンドリンクラブに演奏をしてもらった。ワークショップは、ビーズプレスレット、マーブリング、押し花はがき、脳イキイキアート、消しゴムはんこを行った。二日目に友人を呼んでまたワークショップに参加する人もいた。また、すすく泉に参加してもらい、子育て応援チャームの販売をしてもらった。他のコミセンの文化祭を見て気がついたのは西部は模擬店が少ないということ。模擬店の力は大きいと感じた。

10月31日(水) ハロウィン

仮装して窓口で「トリック・オア・トリート」と言ってくれたらお菓子をあげるというイベント。近隣商業施設でも同様のイベントがあると相乗効果が期待される。コミセンを知ってもらうための広報的なもの。

11月17日(土) オータムコンサート

亜細亜大学吹奏楽団の演奏を楽しんだ。各世代の曲や楽器紹介などがあった。コンサート後に参加者から近所のスーパーで「よかったよ、学生さんたちに伝えておいて」と言われ、満足してもらえたと感じた。交流やつながりという面は現状ではまだ何もないので、今後、演奏に加わったり、観客同士が交流できる工夫ができればいい。なかなか難しいが。

11月18日(日) バドミントンの集い

運営側が強化された。昨年度はコミセンを利用しているバドミントンサークル1団体と協力して開催したが、今年度は4団体で協力しあった。協議会と団体の交流だけでなく、団体間の交流もすることができた。また、イベントに参加して西部コミセンでバドミントンができることを知り、家族や仲間を連れてその後も利用している例も見られた。バドミントンを広めたいという大学生の参加もあり、今後が期待できる。

11月23日(金) パソコンセミナー

年賀状をwordで作って印刷するというイベント。各々のパソコンの設定が若干違っていたりして講師の説明が伝わらないことがあり苦労していた。最後はほとんどの人が印刷まで到達できた。

11月25日(日) 絆プロジェクト

桜野小で行われた桜野地域防災ネットワーク主催の避難所開設訓練に協力に参加した。体育館での見守りを担当した。防災訓練と思っている参加者と開設訓練と考えている主催者側とのギャップが感じられた。

12月1日(土) 大掃除

登録サークルのみなさんと運営委員・協力員で行った。各部屋などの作業内容が文書化されていない。毎年同様な作業なので主なところだけでも必要な道具と作業内容を文書化しておいたほうがいい。

12月1日(土) ボッチャの会

大掃除が終わって昼休憩を挟んで開催。スポーツ推進員の高瀬さんと土屋さんにルールを教わったり、フラフープを利用して練習をしたりして総当たり戦の開始を待つ。チーム構成が発表される。チームは老若男女の赤の他人がまざるようにうまく構成されている。全部で8チームでき、1チーム3試合を楽しんだ。「面白い」、「またやってみよう」という声があった。数日後、わざわざ窓口でまたやりたいと感想を伝えて帰られる参加者もいた。失敗だったのは、年配の参加者が大掃除から連続での参加で疲れてしまい、ゲーム終了とともに帰ってしまったこと。次年度以降続ける場合は他の予定と被らないようにしないといけない。休憩できる場所も検討が必要。元気が有り余る子どもたちは、終了後もまだまだゲームを続けた。

12月22日(土) 和風づくりの会

彦一風という和風を和紙と竹ひごで作った。工作が下手だったり、できなかつたり、説明不足などところがあるから始まる会話がある。会話の糸口としたらエネルギーを要しないから結構いいことなのかもしれない。腕が良すぎたり、完璧な準備では得られない。地域コミュニティは優・良・可があるとしたら、可がよいのかな。あえて可を目指すべきなのかもしれない。イベントで大切なのは無駄話だ。子どもは会話が上手い。明らかに大きい子に、「君何年生？」と始める。誰かがあだ名で呼ぶとみんなも真似をする。彼らは無意味会話の天才。もっと彼らから学ぶものがあるかもしれない。小学生から、「他にも工作の会をやるの?」、「僕は絵を描きたい」と意見が出た。ものづくりは結果が形で出るから達成感は得やすい。この手のものづくり系は1グループ6-10人がちょうどいい。それ以上だと、つながりを作りづらい。そして、ものづくり系はつながりを作りやすい。

1月6日(日) 活け花実演

今年度は予算をアップしてより正月らしい花を活けてもらった。先生と参加者との間では、流派での違いや技術的なこと、それぞれの花の特徴の説明など、いろいろ話しながら進めた。先生から、活け花を広めるために子どもたちへの教室やイベントもやってみたいという意見があった。

2月1日(金) 地域認知症講座

桜堤ケアハウスと市の高齢者支援課との共催。認知症とはどういうものか、どう付き合っていくか、当事者でなくともいずれ役に立つ、誰もが知っておいたほうがよい、そんな講座だった。

2月14日(木) 運営委員研修

ソーシャル・インクルージョンという理念から、協議会においては地域のフルインクルーシブなまちづくりという視点が必要になってくる。インクルーシブな考え方のきっかけとして、先駆的なインクルーシブ教育システムを取材したドキュメンタリー映画「みんなの学校」の上映会を行った。内容的にも運営委員だけで共有するのはもったいないので一般にも公開して多くの人に参加してもらった。上映終了後コーヒーを提供し団欒してもらおうと、1時間以上話し合っていられる方もいた。

2月28日(木) 防災研修

→ 防災部の報告を参照

3月9日(土) ちびっこ運動会

境おやこひろばに加えて亜細亜大学、日本獣医生命科学大学、健康づくり支援センター、桜堤児童館、地域の方々の多くの協力を得て開催した。例年、プログラムは、DANくんの体操、かけっこ・ハイハイ、その年の競技、獣医大愛奏会ウィンドアンサンブルによる演奏、玉入れ、小学生とダンス、となっていて今年の競技はダンボールに子どもを入れて親が紐で引っ張るという若干荒々しいものにした。怖がってダンボールに入らない子がいたら困るということで、大きな人形を用意し、そういう子には人形をダンボールに入れて子ども自身が引っ張ることにした。後から写真で子どもたちの表情を見る限り、楽しんでもらえたと思う。アンケート(回収率55%)によると「よかった」「まあよかった」が全てでネガティブな回答はなかった。自由記述からも楽しかったことが伺えた。

3月17日(日) 卓球の集い

いろんなスキルの人が参加している。上手い人は初心者が打ちやすい所にボールを誘導してくれる。普通に卓球するだけでなく、サーブを打ち返して的中に入れるゲーム、団体戦、など遊びの要素も入った卓球イベントだった。二日後の卓球教室に「卓球の集いが楽しかったから」という理由で参加する子がいたことからイベントが役に立ったことがわかる。子どもが混ざることでは話のきっかけができ、大人もコミュニケーションがしやすくなることが分かった。

3月21日(木) 3コミセンネットワーク事業

境南・桜堤・西部の役員が親しくなるために行っているイベント。今年度はカントリーウエスタンのバンドにコンサートを行ってもらった。演奏した曲も参加者の年齢層とあっていて楽しまれていた。

3月22日(金) ベーゴマ大会

年代・性別関係なく対戦でき遊べるベーゴマで地域の子どもと大人が世代を越えてごちゃまぜになって遊び交流するのが目的。小学校の終業式の午後に開催日を設定した。コミセン前の道路に長机を2台並べ、フェンス側にホワイトボードを置き、桜野小学童クラブから借りた3つの床を道路に並べた。桜堤児童館からも練習・遊び用の床を、コミセンからも一つ並べた。13:30より受付開始のところ13時ごろから集まり始め若干フライングで受付を開始した。まず、参加者名簿に名前を書いて、ベーゴマを選び、自分用に色を塗る。ベーゴマは条件を共通にするために個人所有のベーゴマは使用せず、コミセンで用意したものを使う。各々練習したり遊んだりして14:30より試合を開始した。まずは4人投げ入れの試合を全員10回行った。試合が終わるたびに点数表に点数を記入し子どもたちから歓喜が上がる。最終的に10試合の合計点上位8名でトーナメントで優勝者を決める。見事1位通過は2人のお孫さんを連れてきてくれた年配の方。その他は小学生だった。一投々々真剣勝負、ひもを巻き直す子、左巻きでなかなか勝負がつかない子、それぞれの緊張が伝わってくる。観戦者も一喜一憂。決勝は前述の年配の方と小学生。観戦している小学生からは「じいじ」コールが続く。勝ったのはじいじだった。初戦敗退者から2名敗者復活させ賞品のデコベーゴマを優勝者から順に選んでいった。ベーゴマで地域の老若男女がつながれることがわかった。

■広報部

むさしのFM「マイシティむさしの ゲストトーク」 出演

西部コミセンの担当は5月、9月、12月の計3回だった。5月は広報部の横山が出演し武蔵境ピクニックやコミセンまつりについて宣伝、9月は広報部の鶴田と太極拳・気功の会の西堀さんが10月14日(日)「太極拳・気功交流会」について宣伝、12月は会長の大上が出演し12月22日(土)「和風づくり」の宣伝を行なった。

西部コミセンニュース発行

10月1日発行。文化祭特集をメインに、9月までの行事のレポート等を掲載した。広報部の人手不足により今年度は1回のみ発行となってしまったが、LINEを利用した打ち合わせ・原稿のやり取りやipadでの編集作業など、服部チーフを中心に新しい試みを行うことができた。この作業方法については12月7日(金)コミュニティ研究連絡会の広報研修会で報告したところ、多くのコミセンより反響があった。

市報むさしの「コミュニティ・レポート」寄稿

市報むさしの12月1日号の「コミュニティ・レポート」は西部コミセンが担当し、広報部大上が「コミセン×放課後」というタイトルで小学生が放課後どのようにコミセンを利用できるかというコラムを執筆した。

SNSアカウント開設、西部コミセンの情報発信開始

Twitterアカウントを開設し、1月より西部コミセンの情報発信を開始した。当面は相互フォローなし・西部コミセンの情報発信のみで運用する。いずれは西部コミセンだけでなく地域全体を繋げ、盛り上げるような運用ができないか考えていきたい。

ホームページの再構築

ホームページを更に使い勝手よく、時代に合わせてデザイン性を高めるべくリニューアル作業に着手し始めた。現在も服部チーフを中心に鋭意作成している。

■防災部

防災部の組織

防災部は副会長で防火管理者でもある横山が長となり、市の防災委員や防火管理者資格保有者その他入部を希望する運営委員を部員として活動している。30年度の部員は4名で発足し、その後4名が参加して最終的に8名となった。

今年度の活動

7月5日(木) 第1回防火防災訓練

10:00～12:00の2時間で「館内点検」として実施した。参加者15名を3名ずつの5グループにわけ、グループごとに館内各室、敷地内を全員で巡回し、防火防災設備を中心に、フロアマップにマーキングするなど施設の実態を点検した。参加者からは「いつも見ているはずなのに気が付かないところが多かった」「防災に限らず日頃の窓口業務に役立つ」などの感想があった。

2月28日(木) 第2回防火防災訓練

10:00～12:00の2時間で「バス研・消防博物館見学」として実施し、15名が参加した。見学先の「東京消防庁・消防博物館」では、江戸時代の「火消し」の歴史や、明治以降の近代化の足取りを展示を通して学びながら、自助・共助・公助のあり方や、災害に対する心構えを考えた。災害という避けられない悲劇に対して、力を合わせ、またユーモアを交えながら立ち向かっていった先人たちの「知恵」にはこれからの防災を考えるうえで大きなヒン

トになると考えられる。

今後の課題

- 地域の防災関係組織(避難所運営組織、自主防災組織、その他)との連携
- 災害時の対応(支え合いステーションの開設、その他)についての意思統一
- 「丸適マーク」取得の検討

■総務部

5月17日 窓口ミーティング

利用者のキャンセル処理を確実にするため、「キャンセル・変更ノート」を作成した。また、新しく窓口を担当する運営委員が増えたため、「窓口マニュアル」を作り直した。

7月18日 窓口ミーティング

調理室係が調理室の器具リストを作成した。利用者への説明を的確にできるようになった。3階のギャラリーの管理担当を設け、季節感のある写真を展示するようにした。今後は利用者の作品展示など様々な使い方を考えていく。

9月19日 窓口ミーティング

緊急時に備えハンドマイクや、コミセンまつり用の消火器・ガス釜、ロビーには幼児連れの方がゆっくり食事ができるようにベビーチェアを購入した。隔月で行われている「生活習慣病料理教室」の受付を講師が行っていたのを窓口で行うことにした。

11月21日 窓口ミーティング

西部コミセンの朝は部屋を予約される方が早くから来て並んでいる。夏は蚊の大群に襲われ、冬は冷たいコンクリートに座って待っているのが心苦しいので、朝窓口担当者がコミセンに到着しだい玄関風除室を開放しそこで待っていただくことにした。そこにイスを配置し、花台は荷物置き場となり、季節の花鉢を置いたところ素敵な待合室となった。

1月16日 窓口ミーティング

施設の管理業務を見直すため、鍵の開閉タイミング、ノロ対策、巡回、文書の廃棄基準、窓口担当者交代時の引き継ぎ事項などを確認した。

3月20日 窓口ミーティング

これまで利用者の忘れ物を6ヶ月で処分してきたが、近年忘れ物が増えていることもあり保管場所にも困るので、保管期間を2ヶ月に変更し、保管期間を過ぎしだい開示・処分することにした。視聴覚室が絨毯敷きであるために、臭いが気になると報告があった。暖くなる前に重曹クリーニングを試みた。4月からごみの収集方法が変更になるのを機に新たに業務用ゴミ箱を増やしプラスチックごみの分別を行うことにした。

単位:円

2018 年 度 決 算 書

西 部 コ ミ ュ ニ テ イ 協 議 会

■委託費の部

収入額	6,116,000
支出額	5,750,814
精算額	365,186

〈収入〉

費 目	当初予算額	予算現額(A)	収入済額(B)	(A-B)
指 定 管 理 委 託 費	6,116,000	6,116,000	6,116,000	0
合 計	6,116,000	6,116,000	6,116,000	0

〈支出〉

費 目	当初予算額	予算現額(A)	支出済額(B)	(A-B)
窓 口 当 番 手 当	5,916,000	5,916,000	5,713,500	202,500
修 繕 料	200,000	200,000	37,314	162,686
合 計	6,116,000	6,116,000	5,750,814	365,186

■補助金の部

収入額	2,892,375
支出額	1,937,623
翌年度繰越額	954,752

〈収入〉

費 目	当初予算額	予算現額(A)	収入済額(B)	(A-B)
市 補 助 金	2,209,000	2,209,000	2,209,000	0
前 年 度 繰 越 金	683,336	683,336	683,336	0
雑 収 入	104	104	39	65
合 計	2,892,440	2,892,440	2,892,375	65

〈支出〉

費 目	当初予算額	予算現額(A)	支出済額(B)	(A-B)
事 業 費	775,000	775,000	719,741	55,259
運 営 費	380,000	380,000	229,224	150,776
消 耗 品 費	565,000	565,000	403,589	161,411
印 刷 製 本 費	450,000	450,000	443,138	6,862
通 信 ・ 交 通 費	131,000	131,000	121,931	9,069
研 連 負 担 金	20,000	20,000	20,000	0
備 品 費	100,000	100,000	0	100,000
予 備 費	471,440	471,440	0	471,440
合 計	2,892,440	2,892,440	1,937,623	954,817

2019 年 4 月 3 日

会 計 名

代表者氏名

梁井記代
大上 茂雄

上記の決算について監査の結果、適正であることを認めます。

2019 年 4 月 3 日

監 事

監 事

西堀 廣子
田中 雅文

2018 年度 特別会計決算書

西部コミュニティ協議会

適 用	前年度繰越金	収 入	支 出	積立金へ	次年度繰越金
ピアノ	456,343	52,604	39,000	0	469,947
	508,947		39,000		
自販機、他	194,206	228,300	58,428	0	364,078
	422,506		58,428		
積立金	334,327	2	0		334,329
	334,329		0		
合 計	984,876	280,906	97,428	0	1,168,354
	1,265,782		97,428		

2019年4月6日

(会計名)

梁井記代



(代表者氏名)

木上茂雄



上記の決算について監査の結果、適正であることを認めます。

年 月 日

監 事

西堀廣子



監 事

田中雅文



2019年度活動計画(案)

開催日	活動名
4月 13日 (土)	第38回住民総会
5月 11日 (土)	第13回武蔵境ピクニック
5月 15日 (水)	地域懇談会＋交流会
6月 15日 (土)	第9回コミセンまつり
6月 28日 (金)	パソコンセミナー
7月 4日 (木)	防災訓練
7月 7日 (日)	カラオケ大会
7月 未定	夏休みコミュニティ食堂
8月 未定	
9月 7日 (土)	フレイル体操
9月 21日 (土)	ボッチャ大会
10月 13日 (日)	太極拳・気功の集い
10月 26日 (土)～27日 (日)	文化祭
11月 上旬	オータム・コンサート
11月 上旬 (日)	バドミントンの集い
11月 22日 (金)	パソコンセミナー
12月 7日 (土)	年末大掃除
12月 未定	工作の会
1月 6日 (月)	活け花実演
1月 未定	どんど焼き(二小)
1月 未定	どんど焼き(桜野小)
2月 上旬	運営委員研修
2月 27日 (木)	防災訓練
3月 7日 (土)	第6回ちびっこ運動会
3月 15日 (日)	卓球の集い
3月 未定	ベーゴマ大会
奇数月第2火曜	生活習慣病予防料理講習会
数回	季節行事
数回	コミセンデー
未定	健康づくり出前講座
未定	コミセンウォーキング
	明治150年プロジェクト
	体育室音響設備改善プロジェクト
	オリパラ検討プロジェクト

2019年度 予算書 (案)

【

西部コミュニティ

協議会】

■委託費の部

収 入 額	6,135,000
支 出 額	6,135,000

<収入> (円)

項 目	予算額	説明
指定管理委託費	6,135,000	
合 計	6,135,000	

<支出> (円)

項 目	予算額	説明
窓口当番手当	5,935,000	780円×6人×4時間×307日+延長
修 繕 料	200,000	
合 計	6,135,000	

■補助金の部

収 入 額	3,163,852
支 出 額	3,163,852

<収入>

項 目	予算額	説明
市補助金	2,209,000	
前年度繰越金(予備費)	954,752	
雑 収 入	100	利息等
合 計	3,163,852	

<支出>

項 目	予算額	説明
事 業 費	775,000	文化祭・コミセンまつり等
運 営 費	380,000	会議費等
消耗品費	565,000	1万円以下の事務用品等
印刷製本費	500,000	コピー機、印刷用紙等
通信・交通費	131,000	
研連負担金	20,000	
備 品 費	100,000	
予 備 費	692,852	市補助金の2/12(368,000)以上
合 計	3,163,852	

2019年4月8日

会 計 名

梁井記代



代表者氏名

大上茂雄



単位:円

2019 年度 特別会計予算書 (案)

適用	前年繰越金	収入	支出	積立金へ	次年度繰越金
ピアノ	469,947	50,000	24,000	0	495,947
	519,947		24,000		
自販機、他	364,078	200,000	100,000	0	464,078
	564,078		100,000		
積立金	334,329	2	0		334,331
	334,331		0		
合計	1,168,354	250,002	124,000	0	1,294,356
	1,418,356		124,000		

2019年4月0日

(会計名)

梁井記代



(代表者氏名)

大仁茂雄



2019年度運営委員名簿(案)

■運営委員

	名前	住所	備考
1	赤間 照子	境5	新規
2	秋本 正	境1	
3	今井 和代	境2	
4	梅本 和男	境3	
5	大上 茂雄	桜堤1	
6	大上 由紀子	桜堤1	
7	大谷 和彦	桜堤1	
8	大鷲 美津江	境5	
9	川口 明子	桜堤2	新規
10	近藤 博子	境3	
11	佐藤 佳子	桜堤1	
12	三本木 由実子	桜堤1	
13	鈴木 康夫	桜堤1	
14	高田 幸子	桜堤1	
15	高橋 淳子	境3	
16	高橋 幸代	桜堤2	
17	竹内 登	境3	
18	田中 雅文	境4	
19	土屋 清枝	境5	協力員より
20	鶴田 仁美	桜堤2	
21	西堀 廣子	桜堤2	
22	西村 咲穂里	境5	
23	服部 紀子	桜堤2	
24	平野 薫	境1	
25	武藤 聖子	桜堤2	
26	村野 ゆり子	境3	
27	梁井 記代	境3	
28	柳沢 学	境1	
29	山寄 香奈子	桜堤2	
30	山谷 美和	境4	
31	横山 勇	桜堤2	

■役員

会長	大上 茂雄
副会長	大鷲 美津江
副会長	平野 薫
副会長	山寄 香奈子
副会長	横山 勇
会計	梁井 記代

■監事

監事	田中 雅文
監事	西堀 廣子

西部コミュニティ協議会会則

本協議会は、市民の市政参加による武蔵野方式により、地域住民の住民による住民のためのコミュニティづくりを目指します。

生活環境（道路・緑化・地域改造）や、教育・文化・健康問題をみんなで考え話し合い、私たちの街として誇れる明るいまちづくりを進めましょう。

そのために、私たち一人一人が集いに参加してまちづくりの担い手となりましょう。

（名称・所在地）

第1条 本会は、西部コミュニティ協議会（以下「協議会」）と称し事務所を、西部コミュニティセンター内に置く。

（構成）

第2条 本協議会は、桜堤・境全域を対象としその住民をもって構成する。

（目的）

第3条 本協議会は、地域住民相互の交流と文化・スポーツの諸活動を通じて明るく、豊かな街づくりを進めることを目的とする。

（事業）

第4条 本協議会は、前条の目的達成のために、次の事業を行う。

- （1） 地域住民のコミュニティ活動に関すること。
- （2） コミュニティセンターの管理運営を行う。
- （3） その他目的達成に必要な事項。

（組織）

第5条 本協議会は、総会・運営委員会・役員会をもって運営する。但し必要に応じて、専門部会を設けることが出来る。

（総会）

第6条 総会は、地域住民全体を対象とし、年1回の定期総会及び必要に応じて、臨時総会を開く。

第7条 総会は、市報を通じて招集し、当日の参加をもって、議事を進行する。

第8条 総会は、次の事項を審議する。

- （1） 事業報告・事業計画及び決算・予算並びに監査報告。
- （2） 運営委員、監事及び役員の承認。
- （3） その他の提案事項

（運営委員）

第9条 運営委員は、第2条で規定される構成員より、運営委員会で選出し、総会で承認されるものとする。

（運営委員会）

第10条 運営委員会は、運営委員をもって構成される。

第11条 運営委員会は、必要に応じ、会長が召集する。

第12条 運営委員会は、次の事項を審議する。

- （1） 総会に提案すべき事項。
- （2） 第4条に定めた事項に関する必要な事項。
- （3） 運営委員、監事および役員の人事に関する必要な事項。
- （4） 運営要綱の制定・改訂に関すること。

(役員会)

第13条 本会は、その運営のために、次の役員を置く。

会長1名、副会長4名、会計1名

2 役員は運営委員で互選し、総会で承認するものとする。

第14条 役員会は、前条の役員をもって構成し、必要に応じ会長が招集し必要事項を審議する。

第15条 役員の任務は次の通りとする。

(1) 会長は、本協議会を代表し、会務を統括する。

(2) 副会長は、会長を補佐し会長に事故あるときは、その職務を代行する。また、庶務全般の統括、事業、書記および会計事務を分担して担当する。

(3) 会計は会計事務を担当する。

2 会長は、運営委員の中より、窓口担当者を任命する。

(監事)

第16条 本会は、監事2名を置く。監事は運営委員で互選し総会で承認するものとする。

2 監事は会計及び事業の監査を行い、その結果を総会に報告する。

(議決)

第17条 本協議会の会議の議決は、出席者全員の合意を原則とするが、止むを得ぬ場合は、出席者の過半数の賛成をもって成立する。

(役員及び監事の任期)

第18条 役員及び監事の任期は、2年とする。但し再任は妨げないが同一役職は3期までとする。

2 補欠により就任した役員及び監事の任期は、前任者の残任期間とする。

(会計)

第19条 本協議会の会計は、武蔵野市よりの補助金及びその他の寄付金等をもって充てる。

第20条 本協議会の会計年度は毎年4月1日より始まり翌年3月31日をもって終わる。

(会則の改廃)

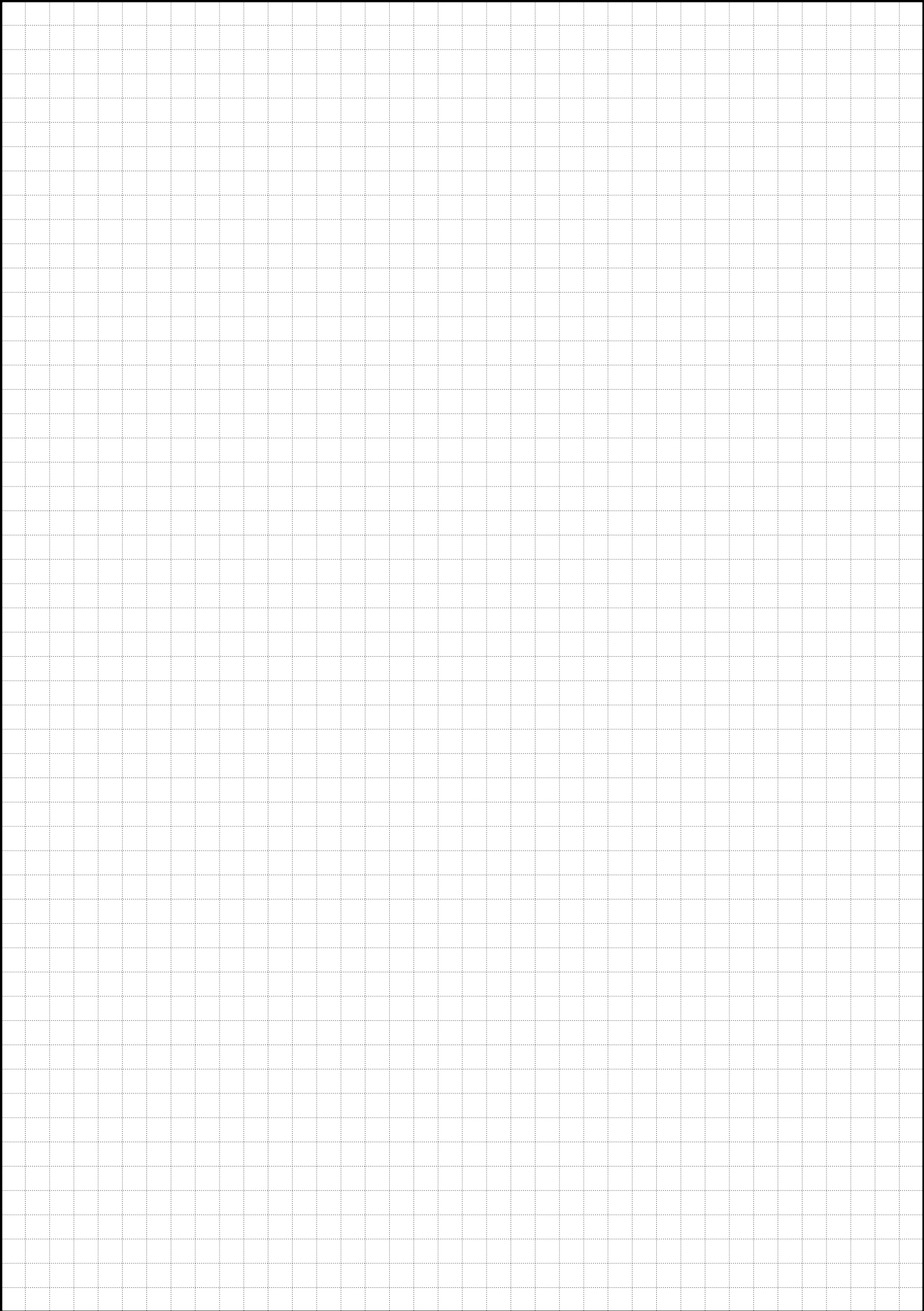
第21条 本会則の改廃は、総会の議決による。

付 則

本会則は、昭和58年5月14日より施行する。

一部改正。昭和60年3月24日、昭和62年4月5日、平成3年4月28日、平成4年4月19日、平成5年4月25日、平成13年4月22日、平成22年4月25日、平成23年5月1日、平成24年4月22日、平成26年4月20日、平成29年4月15日。

MEMO



■添付資料

- ・西部コミセン利用状況（月別・部屋別）
- ・2018年度活動報告
- ・2018年度決算書
- ・2018年度特別会計決算書
- ・2019年度活動計画（案）
- ・2019年度予算書（案）
- ・2019年度特別会計予算書（案）
- ・2019年度運営委員名簿（案）

■参考資料

- ・西部コミュニティ協議会会則

西部コミュニティ協議会

〒180-0022 武蔵野市境5-6-20

☎ 56-2888（9:30-21:00）

✉ seibu-c@bz04.plala.or.jp

🐦 @seibukomisen

🌐 <https://seibu-c.sakura.ne.jp/>

西部コミュニティ協議会はまちづくり・コミュニティづくりを
目的とし西部コミセンを拠点として活動する団体です。